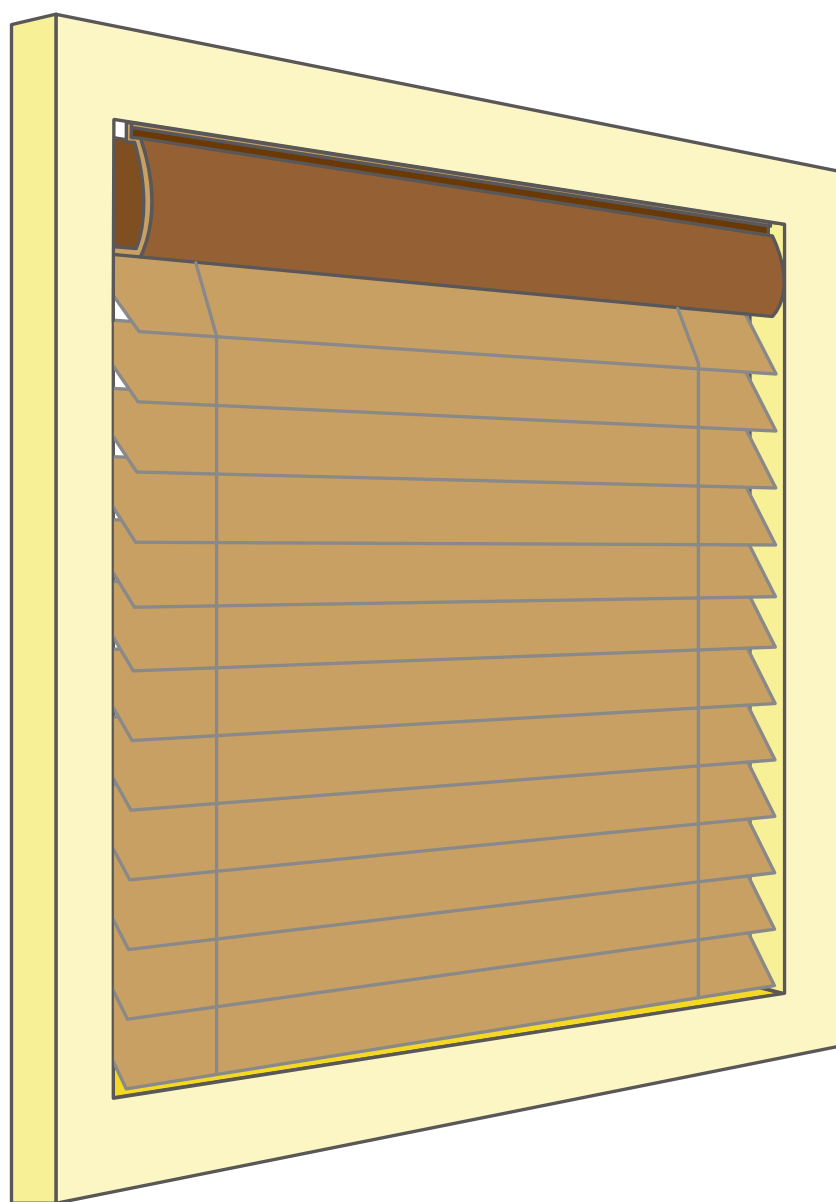


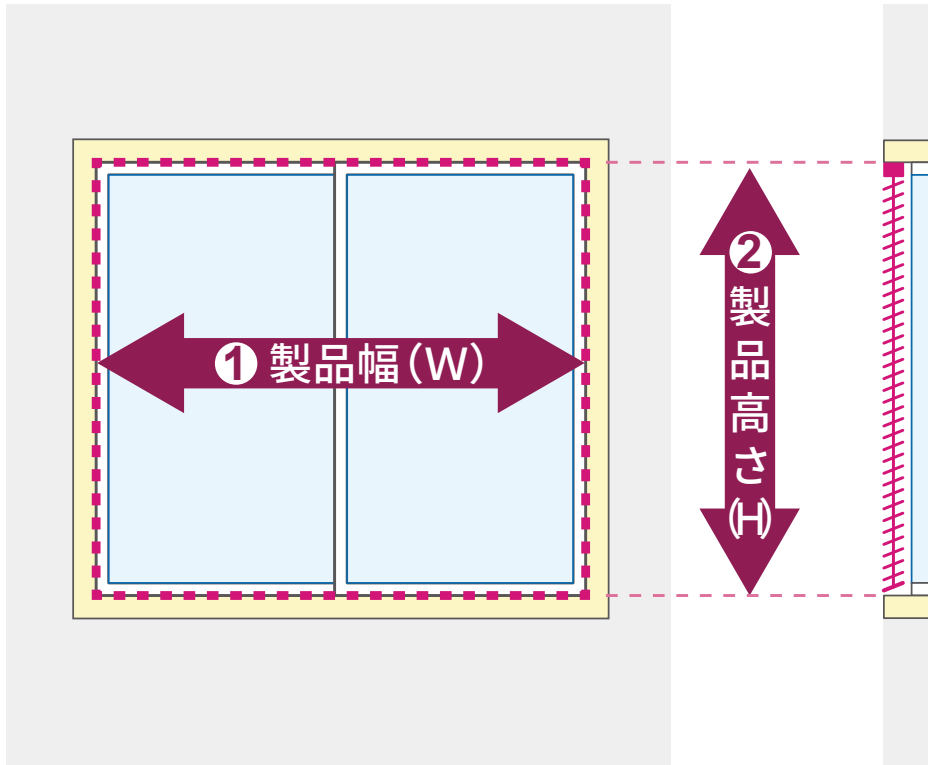
桐ウッドブラインド 採寸方法

# 窓枠天井付け（鴨居付け）

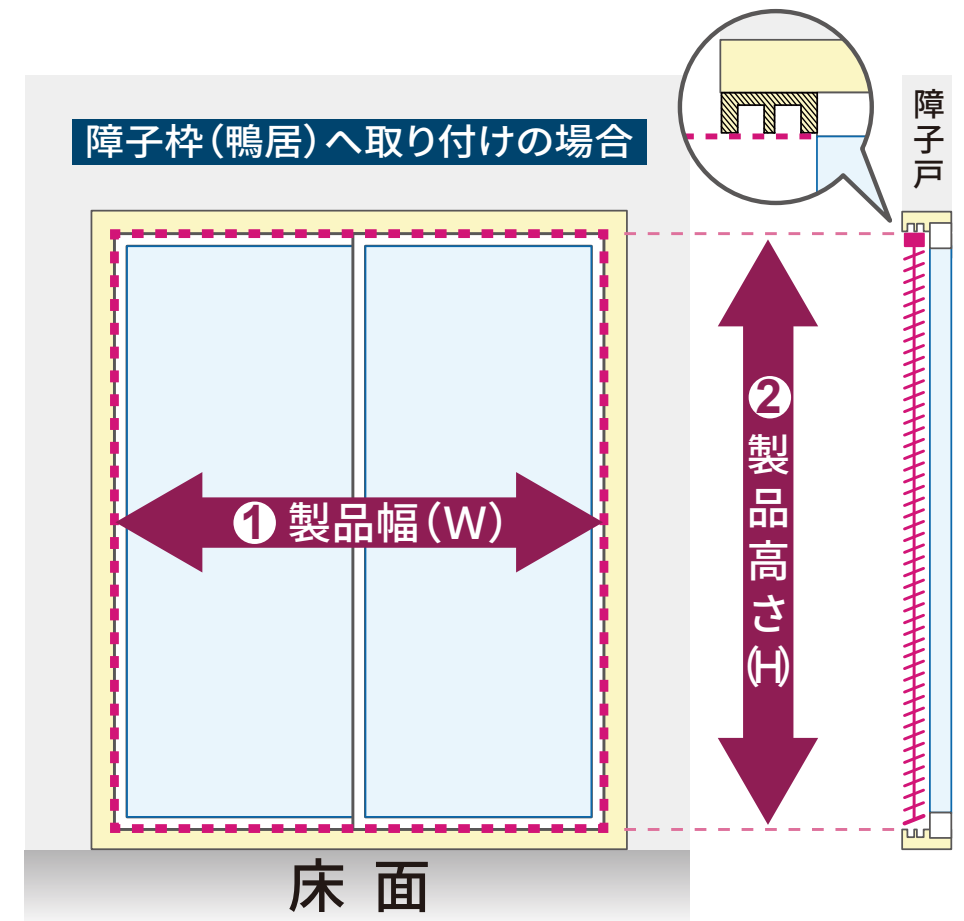


窓枠内に取り付ける時

## 窓枠天井付け(鴨居付け)



製品寸法は幅、高さともに窓枠の内側寸法を両端から正確に測ってください。



製品幅は窓枠の内側寸法を測ってください。  
製品高さは窓枠上面から床まで測ってください。

## ※採寸する時の注意※

- ・ 設置条件(別途資料)を十分ご確認の上、正しく採寸してください。
- ・ 採寸は、幅、高さともに窓枠の内側寸法を何も引かずに、正確に測ってください。
- ・ 幅・高さともに3か所以上(上中下、左右中など)採寸し、それぞれ最小の寸法にてご注文ください。
- ・ 製品は窓枠内に収まるよう、工場にて1台あたり幅6mm(片側3mm)、高さ2mmを引いて製作されます。
- ・ 取り付け後の窓枠とスラットの隙間は片側約3mmです。
- ・ 間仕切りとしてご利用の場合(天井付け)、必ず下地が木材の野縁部分であることをご確認ください。

## 窓枠天井付け(鴨居付け)

大きな窓に設置する場合は、台数を分け、並べて設置してください。

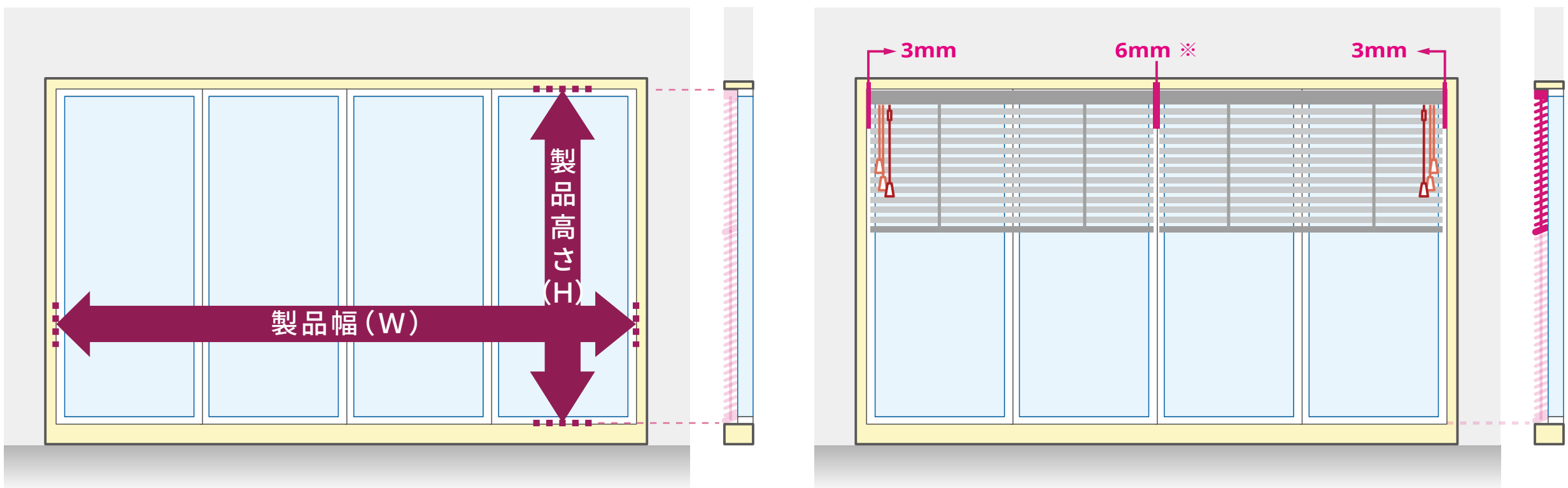
台数を分けて設置する場合は、窓サッシを境にすると見栄えも良くなります。

採寸方法は1台の時と同様、設置個所の窓枠内側の寸法を測ってください。

そこから幅を台数分で割ったサイズがご注文サイズとなります。

商品に合わせ、工場にて1台あたり幅**6mm**(片側**3mm**)、高さ**2mm**を引いて製作します。

取り付け時の隙間は桐ウッドブラインドの場合、片側(窓枠とスラット)約**3mm**、2台の間(スラットとスラット)は約**6mm**となります。



※ 製品を並べて設置するとき、**6mm** 以上の隙間が必要です。  
一般的な日本の窓枠では隙間 **10mm** を推奨しております。